

時事新報

第千五百九十四號
明治二十年五月廿一日

土曜日
舊丁亥
四月廿九日
丙戌

西曆一千八百八十七年

晴
午後四時四十分
月入午後五時五十分

時事新報定價

一號二編〇一月月賃金五十銭〇三月月賃金一百五十銭〇六月月賃金三百

〇所取新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ發送スルモノノ限り本支定價ヲ外ニ

書月二十六編ノ要件ナシ

時事新報廣告料前金一行一付

一日廿四字滿一日限
二日以上十五日迄
十六日以上十七日迄
三十一行至卅行九
行以上六錢
三十二行以上五
三十三行以上四
三十四行以上三
三十五行以上二
三十六行以上一

時事新報

九州鐵道會社に質す

建て設立の目論見ありたる九州鐵道會社は頃日その筋より許可の内訓もあり遠くから公然の沙汰に成るべき

遊びの由にて既に同會社よりは軌條その他の品物を獨逸國へ向けて注文したりとの風説なり設立事業の斯く

速に採取らんみど誠に喜ぶ堪能なれども其の鐵道を

英國者等は本國に注文せずして緣故の遠き獨逸國に逃へたりとの一事に至りては我輩に於て大に異存無きよ

と詫はず或は此風説も眞の証傳にも事實取るに足らざるものとの判然せば別段論するほどの要用は無けれ

ども實否は傍置き苟先にモ斯る風説の世に流布して信

しの偏頗も無らんこと固より以て我輩の所望あれども

交際と商賣とは又全く別事として金錢に當りては他人

のあれとも實は純然たる私立の事業に有りとも之に遠慮し

て柱を立て商賣を營むが如きは甚ざ謂はれぬ事に非ず

と要するは勿論なるに之を英米の諸國に求めずして

故なく獨逸國に求めたりとい我輩に於て其所見を知る

に苦しむなり何人も知れる如く英は製鐵の業に有名な

利益を計らる其興業費の廉にして兼て又工事の堅牢利

便を要するは勿論なるに之を英米の諸國に求めずして

其れ逃よは様をある手菴の扱ひに遇へとも折れさり試

り難い折して破損不用を生ずるものは皆無地も云ふべ

て第一とする事はれども西洋の定論にして英軌米車の此

二つは他の邦國にて所詮模擬す可らずと爲そは様て我輩の聞知し居たる事實なども獨逸の軌條、獨逸の車

これに比肩して何等の出色あるやを覺ぬす例へば日本國

より難い折して日本車の定論にして英軌米車の此

二つは他の邦國にて所詮模擬す可らずと爲そは様て我

輩の聞知し居たる事實なども獨逸の軌條、獨逸の車

これに比肩して何等の出色あるやを覺ぬす例へば日本國

より難い折して日本車の定論にして英軌米車の此

二つは他の邦國にて所詮模擬す可らずと爲そは様て我